2026
9月
VOL.05
群馬県社協

びすけっと通信

GUNMA BISCKETTO NEWS　"微助っ人"の輪を広げる 支え合いの地域づくり

今月の報告

明和町
アドバイザー派遣を実施しました！

明和町では、地域の支え合い活動のさらなる充実に向け、令和6年度に協議体を見直し、令和7年度から新たな体制で活動をスタートしています。

今回は、協議体メンバーに「居場所」の大切さについて学んでもらい、これからの地域づくりを考える機会として、アドバイザー派遣を実施しました。

まず、町介護福祉課の高木さんから「明和町の現状と課題」について情報提供がありました。明和町の要介護認定率は県内で最も低く、保険者（1,573）のうち10位（令和8年4月末時点）。元気アップ教室をはじめ、住民主体の活動も活発に行われています。



★パネル展示の資料。皆さんの思いが集まっています！



続いて、目﨑さんから「居場所の意義とは～お互いさまで支え合う地域づくり～」をテーマに講演いただき、人とのつながりや社会参加の大切さ、介護が必要になっても地域から切り離さず、「地域だからこそできること」があることを学びました。

その後のグループワークでは、「今の活動から広げていけそうなこと」「こんなことならできそう」をテーマに意見交換。参加者からは「やってみたい」という前向きな声が多く聞かれ、行政・社協職員もその声を丁寧に聞きながら、活動につなげる方法を一緒に考えました。

一度立ち止まって協議体を見直し、住民の声に耳を傾けながら、もう一度地域づくりを進めていく。行政・社協職員と住民が対話を重ね、新たな一歩を踏み出している姿が伝わってきました。

県社協も、こうした市町村・社協の挑戦に寄り添い、住民の「やってみたい」が地域の活動につながるよう、一緒に考え、応援していきます。

これから明和町で、どんな「やってみたい」が形になっていくのか。今後の取組が楽しみです！



ココ推し　対話　～住民の「やってみたい」を一緒にカタチに～



行政と社協が連携するだけでなく、住民の声を聞き、一緒に考えることを大切にしています。「どうしたらいい？」を行政・社協だけで考えるのではなく、「どうしたい？」を住民と一緒に考える。その対話から生まれる「やってみたい」が、明和町の地域づくりを動かしています。

住民の「やってみたい」を形にするために、町及び社会福祉協議会では事業の主旨目的を明確にし目標を立て事業を進めています。高崎市の計画を知りたいと自ら連絡を取り、学びを得るなど、必要なことは自分たちから聞き、学ぶ姿勢を大切にしています。

伊勢崎市
アドバイザー派遣を実施しました！



伊勢崎市では、第1層協議体（市域）と第2層協議体（11地区）で生活支援体制整備事業を進めています。今回は、各地区で活動する生活支援コーディネーター（SC）が、それぞれの実践や悩みを共有し、今後の活動を考える機会として、アドバイザー派遣によるSC座談会を実施しました。

座談会に先立ち、参加者には「苦労していること」「協議体で心がけていること」「SCとしてやりがいを感じていること」「がんばったこと」などをプロセスシートに記入してもらいました。

当日は、そのシートをもとに、日頃の活動について情報交換。地域によって状況や取り組み方は異なりますが、皆さんがそれぞれの地域で試行錯誤しながら活動していることが伝わってきました。

アドバイザーの目﨑さんからは、SCが取り組んできたことへの応援の言葉とともに、活動をもう一歩進めるためのヒントやアイデアが伝えられました。また、第1層SCからも市全体の状況や実際の取組について情報提供があり、各地区のSCにとって、今後の活動の参考となる具体的な事例を共有する機会となりました。

一人で悩みを抱えるのではなく、それぞれの経験や工夫を持ち寄り、互いの実践から学ぶ。

今回の座談会は、SC同士が日頃の活動を振り返り、自分たちの「がんばっていること」に改めて目を向ける時間となりました。

～SCが成長できる「プロセス」を支える～

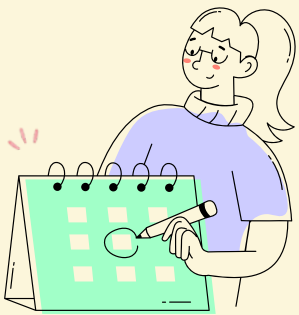
SC自身の頑張りだけでなく、安心して相談でき、学び、振り返ることのできる環境も大切です。伊勢崎市では、行政・社協・第1層SC・統括マネジャーが連携し、SCが悩みを相談したり、必要な知識やスキルを学んだりできる環境づくりを考えています。

「SCに頑張ってもらう」だけでなく、「SCが頑張れる環境をつくる」。SCの活動だけでなく、成長していく「プロセス」を支える視点が、地域づくりのヒントになりそうです。

SCへの助言や勉強会も、
アドバイザー派遣で行っています。
「今の取り組みでいいのかな?」
「事業の理解を深めたい！」
など、SCの学びや活動の後押し
にもご活用ください！



今後のスケジュールを
ご紹介します！



10/16 (金)	南牧村アドバイザー派遣・甘楽町アドバイザー派遣打合せ
10/21 (水)	西部ブロック地域課題検討会・情報交換会
10/29 (木)	利根・沼田ブロック地域課題検討会・情報交換会
11/5 (木)	甘楽町アドバイザー派遣 ★住民向け勉強会
12/2 (水)	下仁田町アドバイザー派遣 ★民生委員ほか向け勉強会
12/8 (火)	フォローアップ研修会 in市町村会館 ★11月頃詳細をご案内いたします
1/14 (木)	西部ブロック・利根沼田ブロック 合同情報交換会
1/19 (火)	中部ブロック・東部ブロック ぐんま高齢者生活支援共創プラットフォーム交流会 in群馬県立産業技術センター ★11月頃詳細をご案内いたします

発行：群馬県社会福祉協議会地域福祉課

生活支援体制整備事業担当者：吉村・木村
ＴＥＬ：０２７－２５５－６０３２

NEXT ISSUE
2026　10月号
次号は、とある町を取り上げます！
地域の素敵な取り組みをお届けします